



「人を大切にする予算」

群馬県知事 大澤 正明

県内経済は依然として厳しい状況が続
き、県税収入は二年連続で減少する見込み
です。

そのような中で、平成二十二年
度一般会計当初予算の総額は、六千五百八十一億三千百万
円で、前年度に比べて〇・四％減となり
ました。

厳しい財政状況の中でも、県民が安全で
安心して暮らせるよう、「人を大切にする
予算」を念頭に、予算編成に当たりました。
マニフェストに掲げた次の三つの柱を中
心に、引き続き景気・雇用対策のほか、医
療や福祉、教育など県民の暮らしを支える
事業に重点を置いて取り組めます。

県政改革の一層の推進

長期にわたり課題となっている林業公社
の抜本的な経営改革や、長期間遊休地と
なっている用地の有効活用を積極的に行い
ます。

新たな自主財源確保のために、県有施設
命名権（ネーミングライツ）や利用予定の
ない県有地の売却、県庁舎や公用車への広
告掲出などにも積極的に取り組めます。

また行財政改革を一層推進するため、事
業評価を反映し、徹底して事業を見直す
とともに、職員数の削減や管理職以上の給与
の減額を行います。

組織改正では、県政の重要課題に対応す
る「総合政策室」や、来年七月に始まる日
本最大規模の観光PR事業に対応する「群
馬デザインেশョンキャンペーン推進
室」などを新設し、元気で活力ある群馬づ
くりを目指します。

県民生活の安心・安全の確保

医師確保対策では、修学資金の対象を拡
大し、県内への医師の定着を図るとともに、
業務負担が増加している産科・救急医などの
処遇の改善に引き続き取り組みます。併せ
て、県立病院の看護体制の充実や、修学資
金枠の拡大など、看護師確保に努めます。

がん対策では、群馬大学と共同で整備を
進めている「重粒子線治療施設」が完成し、
まもなく一般治療が開始されるのに併せ
て、高額となる治療費の負担軽減のための
利子補助制度を創設します。

介護人材確保対策では、昨年七月、県独
自に制定した「ぐんま認定介護福祉士制度」
により、中堅層の介護職員を引き続き養成
し、介護職員のより一層の質の向上と定着
を図ります。

また昨年十月、全国に先駆けて開始した、
中学生までの医療費の完全無料化を継続し
ます。

いじめや不登校問題などへの対策を強化
するため、公立中学校全校へのスクールカ
ウンセラーの配置を継続したり、きめ細か
な学習・生活指導のため、中学校の非常勤
講師を増員したりするなど、教育の充実に
も力を注ぎます。

環境への取り組みでは、「地球温暖化防
止条例」を今年四月に施行するとともに、
新たに県の実行計画を策定したり、住宅用
太陽光発電設備の導入に対する補助対象を
拡大したりするなど、地球温暖化対策を強
化します。

県内経済の活力向上

県のイメージアップへの取り組みでは、
群馬デザインেশョンキャンペーンに向
けて、地域の観光資源などの情報を全国に
発信するとともに、観光客の受け入れ体制
の整備を進めます。

また今年十月には「全国育樹祭」が開催
され、来年には北関東自動車道が全線開通
します。これらを機に、全国に対して群馬
の魅力を積極的にアピールしていきます。

景気・雇用対策では、資金繰りのための
融資枠を七百億円確保して中小企業を引き
続き支援したり、二つの基金事業を活用し
て、県内で約五千人の雇用を創出したりし
ます。

農業の振興では、県産農畜産物のブラン
ド力を高め、首都圏などでの販売競争力を
強化するとともに、新規就農者の支援や深
刻化する鳥獣被害対策などにも力を注ぎま
す。

八ッ場ダムについては、建設に関する基
本計画に基づき、治水や利水に関連する負
担金を計上するとともに、住民が安心して
生活再建ができるよう、産業・社会基盤の
整備に取り組めます。

知事に就任以来、マニフェストを着実に
実行するため、全力で取り組んできました。
これからもしっかりと基礎を固めて、群馬
をさらに大きくはばたかせていきたいと思
います。